

授業科目	民事訴訟法演習
演習題目	民事訴訟法の諸問題
担当教員	上田竹志
授業の目的	民事訴訟法の基礎を理解して、具体的事例に当てはめることができる能力を身につけることを目的にします。 受講生が司法試験受験等を志望する場合など、ニーズに応じ、具体的な事例問題に応じた文章作成などの能力養成について、指導を行うことがあります。
履修条件	民事訴訟法を履修中か、履修済みであることが望ましいです。
教科書・参考書	例年度、民事訴訟法判例百選を使用します。その他は、民事訴訟法講義で用いた教科書など、ご自身が使いやすいものを利用してください。 論文等の文献については、ゼミの中身次第で、必要な文献を調達してください。基本文献については、教員から指示・配布することがあります。
授業の計画・内容	詳細は受講生と協議の上決定しますが、さしあたり以下を予定します。 【前期】 重要判例や具体的問題を素材に、数名で構成されたグループで基本知識の報告を行い、全員で民事訴訟法上の問題を検討します。必要に応じて、問題に対応する法律的な文章作成の指導を行います。 【後期】 例年度 12 月に開催している、名古屋大学・慶應義塾大学・早稲田大学・同志社大学との合同ゼミに向けて、討論準備を行うことをメインにします。なお、2025 年度は慶應義塾大学で合同ゼミが開催され、2026 年度は詳細未定ですが、名古屋または京都で開催されるのではないかと思います。
成績評価の方法	ゼミの発言内容等、ゼミ参加の度合いを総合的に評価して、成績評価を行います。無断遅刻・無断欠席はマイナス評価となります。